基本方針

1 デジタル化・DXおよびイノベーションの創出

基本施策

1-1 デジタル化・DXの推進

取組の方向性

②デジタル化・DXの取組促進 **重点**

令和5年度の取り組み

令和4年度から実施している「瑞穂町ものづくり・DX等推進事業補助金」を令和5年度についても引き続き実施しました。本補助金は、6つのメニューがあり、その一つに「DX推進事業」を設け、デジタル技術の導入やDXに取り組む事業者に対し、補助金を交付して支援する取り組みです。「DX推進事業」には、A. 着手事業、B. 導入事業、C. ITツール事業があります。令和4年度及び令和5年度の実績は下記のとおりです。

DX導入事業

		令和4年度	令和5年度	合計	年度予算
着手事業	件数	0件	0件	0件	5件
	補助額	0円	0円	0円	1,000,000円
導入事業	件数	1件	1件	2件	3件
	補助額	1,500,000円	1,500,000円	3,000,000円	4,500,000円
ITツール事業	件数	1件	0件	1件	5件
	補助額	50,000円	0円	50,000円	250,000円
合計	件数	2件	1件	3件	13件
	補助額	1,550,000円	1,500,000円	3,050,000円	5,750,000円

※令和5年度の補助額は予定です。

令和5年度実績 導入事業 1件

（申請内容）AI技術を活用したロボットによる完全自動処理を進めることで、業務プロセスの短縮を図り人員を他業務に振り分けることが可能となる事業

令和5年5月1日～7月7日 1次募集
 令和5年8月29日 ものづくり・DX等推進事業専門家会議（申請事業の審査）
 令和5年9月25日～10月27日 2次募集
 令和6年1月12日 ものづくり・DX等推進事業専門家会議（申請事業の審査）
 令和6年3月26日 ものづくり・DX等推進事業専門家会議（事業報告会）

職員や中小企業支援アドバイザー（中小企業診断士の資格を持つ会計年度任用職員）が、連絡を密にとり、申請書等の作成にあたってはアドバイスをするなど、申請作業等を事業者様と一緒に進めました。

令和6年度の取り組み

令和6年度についても、「瑞穂町ものづくり・DX等推進事業補助金」事業を継続して実施します。町内の事業者様がデジタル化やDX等に取り組める後押しとして本事業を活用していただけるよう、企業訪問活動や商工会・金融機関等と連携し、さらなる周知PR活動に努めます。

瑞穂町工業振興計画 重点プロジェクトの取り組み（2／7）

基本方針

1 デジタル化・DXおよびイノベーションの創出

基本施策

1-2 イノベーション創出の促進

取組の方向性

①イノベーションの創出に向けたまちづくりの推進 **重点**

令和5年度の取り組み

多摩都市モノレール延伸に伴い、目指すべきまちづくりの方向性を示した「瑞穂町多摩都市モノレール新駅周辺まちづくり基本構想（案）」において仮称No.6駅の周辺整備として「産業近代化拠点の形成」が示されています。

これらのまちづくりを進めるために、ノウハウや先進事例等の情報収集のため、民間事業者からヒアリングを行い、民間事業者が手掛けた超高速・大容量ネットワークを構築した施設の説明を受けました。また、プロトタイプラボ、コワーキングスペース等の視察を行いました。

参考：「瑞穂町多摩都市モノレール新駅周辺まちづくり基本構想（案）」抜粋
No.6駅周辺まちづくり基本構想

③武蔵地区整備構想
各ゾーンの考え方

「イノベーション創出ゾーン（研究開発施設）」

・「健康・スポーツ」、「医療・福祉」、「環境・エネルギー」、「危機管理」等の成長産業分野を中心に、都市課題の解決に資する技術・製品開発テーマを明らかにし、新たな技術・製品開発に取り組むための機能を導入し、「多摩地域のイノベーション拠点」を目指します。

「産業育成ゾーン（インキュベーションオフィス棟）」

・起業家の育成（インキュベーション）を図り、事業成功に導くためのサポートを行うための機能を導入します。

「農用地活用ゾーン（スマート農業関連施設等）」

・農用地という良好な環境条件や横田基地との近接性等を踏まえ、六次農業、ハイテク農業（スマート農業）等の先進農業推進拠点としての機能を導入します。

・農家との協働により、新たな農業振興のための拠点（農産物販売等）として位置づけます。

「沿道商業業務地区（ロードサイド型店舗等）」

・新青梅街道に面する側は、駅前の顔となるロードサイド型の飲食関連店舗等を誘致します。

令和6年度の取り組み

引き続き、情報収集に努め、具体的なイメージを膨らませ、都市計画課と連携し、整備に向けた準備を進めていきます。

瑞穂町工業振興計画 重点プロジェクトの取り組み（3／7）

基本方針

1 デジタル化・DXおよびイノベーションの創出

基本施策

1-2 イノベーション創出の促進

取組の方向性

②新製品・新技術の開発支援 **重点**

令和5年度の取り組み

令和4年度から実施している「瑞穂町ものづくり・DX等推進事業補助金」の補助メニューに「新製品・新技術開発着手支援事業」及び「新製品・新技術開発支援事業」を設けています。新製品・新技術開発に伴う材料選定などの技術的課題の検討に係る費用や新製品・新技術開発に伴う試作品開発及び試験評価に係る費用の一部を補助し、新製品や新技術の開発に取り組む事業者を支援する取り組みです。令和4年度及び令和5年度の実績は下記のとおりです。

新製品・新技術開発（着手）支援事業

		令和4年度	令和5年度	合計	年度予算
新製品・新技術開発着手支援事業	件数	0件	2件	2件	5件
	補助額	0円	200,000円	200,000円	500,000円
新製品・新技術開発支援事業(単独)	件数	1件	0件	1件	2件
	補助額	1,000,000円	0円	1,000,000円	2,000,000円
新製品・新技術開発支援事業(連携)	件数	0件	0件	0件	2件
	補助額	0円	0円	0円	3,000,000円
合計	件数	1件	2件	3件	9件
	補助額	1,000,000円	200,000円	1,200,000円	5,500,000円

※令和5年度の補助額は予定です。

令和5年度実績 「新製品・新技術開発着手支援事業」 2件

※うち1件は、ふるさと納税返礼品用の商品開発に結び付きました。

令和6年度の取り組み

令和6年度についても、「瑞穂町ものづくり・DX等推進事業補助金」事業を継続して実施します。町内の事業者が、新製品や新技術の開発等に取り組める後押しとして本事業を活用していただけるよう、企業訪問活動や商工会・金融機関等と連携し、さらなる周知PR活動に努めます。

瑞穂町工業振興計画 重点プロジェクトの取り組み（4／7）

基本方針

2 経営基盤の強化と活力ある工業基盤の構築

基本施策

2-3 企業誘致の推進

取組の方向性

①企業誘致の推進 **重点**

令和5年度の取り組み

企業誘致促進事業により、令和元年度に指定を受けた事業者に対し、最終年である3年目（令和4年度課税分）の奨励金を交付しました。

企業立地マッチング促進制度（瑞穂町内に立地を希望し、立地に適した土地についての情報を求めている企業と利用し得る土地についての情報を持つ不動産事業者等をマッチングさせ、企業立地の促進、産業系用地の有効活用を図る）について、令和5年度の利用が1件ありましたが、希望した土地は見つかりませんでした。

その他、工場の新設を希望する企業から問い合わせがありました。該当する土地がなく企業誘致に結びつきませんでした。

参考：「企業誘致促進事業」

町の指定地域内に事業所を新設する企業に対し、奨励措置を講ずることにより、産業の振興と雇用機会の拡大を図り、もって地域経済の発展及び住民生活の向上に資することを目的とする。

奨励金 固定資産税額及び都市計画税に次の割合を乗じて得た額
1年次 100/100 2年次 75/100 3年次 50/100

令和6年度の取り組み

進出可能な広大な土地が少ないことが課題ですが、企業誘致制度やマッチング促進制度に該当する、しないの事案に関わらず、瑞穂町に進出していただけるよう丁寧に対応します。

なお、令和6年度に、企業誘致促進制度を利用可能な事業者が、町内に工場を新規で開設する予定があります。スムーズな制度利用ができるよう事業者と協議調整を行っていきます。

また、瑞穂町を知ってもらい、進出先の候補地として選ばれるようシティープロモーション活動に取り組めます。

瑞穂町工業振興計画 重点プロジェクトの取り組み（5／7）

基本方針

2 経営基盤の強化と活力ある工業基盤の構築

基本施策

2-4 事業承継の促進

取組の方向性

①事業承継の促進 **重点**

令和5年度の取り組み

平成29年度に実施した企業訪問では、多くの事業者が事業承継を課題として挙げていたことから、事業承継について考える機会を創出するため、平成30年度、令和元年度、令和3年度、令和4年度に事業承継セミナーを開催してきました。しかし、事業承継は事業者ごとに業種、財務内容等がそれぞれであり、事業承継の手法も異なることから、令和5年度は、地域で気軽に相談ができるよう、事業承継・引継ぎ支援センターと連携し、毎月1回の個別相談会を開始しました。令和5年度の実績は下記のとおりです。

事業承継個別相談会

開催日	予約件数	相談件数	備考
12月22日(金)	1件	0件	当日キャンセル
1月26日(金)	1件	0件	当日キャンセル
2月29日(木)	2件	1件	当日キャンセル
3月22日(金)	2件		
合計	6件	1件	

当日のキャンセルはあるものの、3月は2枠すべて埋まりました。2月に相談していただいた事業者も相談して少し安心していたと相談員から報告がありました。身近に事業承継について相談できる場所があるということを知っていただくだけでも大きな成果だと考えます。

令和6年度の取り組み

令和6年度は、1年間を通じて月に1回開催できるように、事業承継・引継ぎ支援センターと調整を行い、年間を通じて開催する予定です。事業承継の悩みを一緒に考えられる身近な相談場所として、町内事業者に周知PRを行い、多くの事業者の方に利用いただきたいと思います。

瑞穂町工業振興計画 重点プロジェクトの取り組み（6／7）

基本方針

3 未来を担う人づくり

基本施策

3-1 人材の確保・育成

取組の方向性

①人材育成の取組への支援 **重点**

令和5年度の取り組み

令和4年度から実施している「瑞穂町ものづくり・DX等推進事業補助金」の補助メニューに「人材育成支援事業」設けています。従業員等に対する講習会、研修の開催又は受講、資格取得など、従業員の資質向上等を取り組む事業者に対し、補助金を給付して支援する取り組みです。令和4年度及び令和5年度の実績は下記のとおりです。

人材育成支援事業

		令和4年度	令和5年度	合計	年度予算
人材育成支援事業	件数	3件	2件	5件	5件
	補助額	235,000円	200,000円	435,000円	500,000円
内 研修	件数	1件	1件	2件	
	補助額	100,000円	100,000円	200,000円	
内 資格取得	件数	2件	1件	3件	
	補助額	135,000円	100,000円	235,000円	

※令和5年度の補助額は予定です。

令和5年度実績 2件（研修等の開催・資格取得 各1件）
研修等で申請していただいた事業者は、昨年度に引き続いての申請で、昨年度のレベルアップ研修でした。業務のない土曜日に研修を開催し、多くの従業員が参加しました。

令和6年度の取り組み

令和6年度についても、「瑞穂町ものづくり・DX等推進事業補助金」事業を継続して実施します。町内の事業者様が、研修の開催や従業員の資格取得に積極的に取り組める後押しとして、本事業を活用していただけるよう、企業訪問活動や商工会・金融機関等と連携し、さらなる周知PR活動に努めます。

瑞穂町工業振興計画 重点プロジェクトの取り組み（7／7）

基本方針

4 工業分野におけるプロモーションの推進

基本施策

4-1 プロモーションの推進

取組の方向性

①町の工業力の情報発信・PR **重点**

令和5年度の取り組み

瑞穂町の工業は、製造品出荷額、付加価値額ともに高い水準を保ち、交通利便性の高い立地により、多くの事業所が集積しています。その多くは中小企業が占めていますが、生産用機械器具や金属製品、プラスチック製品を中心に高い技術力と生産力を有する企業が多く、町の産業を支えています。この瑞穂町の強みの一つである「工業力」を町内外にPRする手法は、継続して課題となっています。新たな手法の一つとして、ふるさと納税返礼品登録事業は、瑞穂町の工業力を町外へ広くPRすることができる絶好の機会と考えています。日本中の方がご覧になることができる大手ふるさと納税返礼品サイトへ、技術力の高い工業製品を掲載することが可能であり、自社の工業製品をPRできるほか、魅力的な商品であれば瑞穂町へふるさと納税していただける可能性もあります。また、観光・プロモーション係では、町外イベントや都庁においてふるさと納税返礼品の商品を展示するなどPRに取り組みました。

参考：ふるさと納税返礼品 63品（22事業者）
うち工業製品 28品（6事業者）
マジックハンド、メタルけん玉、ゴルフクラブ、プラモデル
音響製品（マイクロフォン、ヘッドフォン等）、木製カースロープなど

令和6年度の取り組み

引き続き、工業製品等のふるさと納税返礼品登録数を増やすことができるよう、企業訪問や窓口で事業者様がお越しになった時にお声がけするなどPRしていきます。
また、製造業の事業者様が、ふるさと納税返礼品用に新製品等を開発する際に、前述の「瑞穂町ものづくり・DX等推進事業補助金」を活用できるので、補助金のPRも併せて行います。
しかしながら、自社製品のない事業者様も多数あり、そういった事業者様の高い技術力のPR方法についても、引き続き検討していきます。